



なごみ

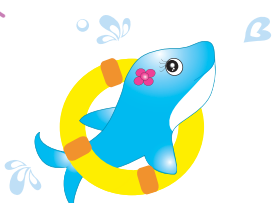
No.35 2017年秋号

えきもん通信



◆特集
楽しく運動してみませんか？

◆地域医療機関の紹介
あきたけ医院



◆院内探訪
リハビリテーションセンター

◆医療連携室より



えきさいかい
一般社団法人日本海員救済会
門司救済会病院



楽しく運動してみませ

生活習慣病の治療のうち運動療法は始めること、更には続けることがなかなか難しいのが現状です。このため運動の楽しさを実感できるように工夫することが大切なのです。皆様に楽しい運動療法を伝えたい!!その思いで平成28年9月11日に開催した第1回「オールデイズde運動療法」の会に引き続き、今年も平成29年10月1日に第2回「オールデイズde運動療法」の会を開催致しました。

せっかくな
楽しく運動して、
楽しく治療してみませんか?



地域イベント・ヒットパレードin門司港イルミ
場所:旧門司税関 2016/12/10



世界糖尿病デー2016ブルーライトアップin北九州
場所:コムシティ 2016/11/12



第20回歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー
場所:門司港レトロ中央広場 2017/5/1



踊る糖尿病専門医とのキャッチコピーを頂きました!

活動の様子はこちらの
QRコードより
動画でご覧いただけます



とんか?

第2回「オールデイズde運動療法」の会開催レポート

内科部長 井元 博文

門司港を中心として北九州市内で活動するバンド、シックスティーズによるオールデイズ(1950年～1960年代の曲)の楽曲の生演奏の横で私が踊り、参加者の皆様にも一緒に気軽に楽しく身体を動かして頂く!そんな楽しい運動療法を啓発する目的で開催した会合、それが「オールデイズde運動療法」の会です。私は10年程前よりオールデイズの楽曲の生演奏が行われるライブハウスで音楽に合わせて踊ることを趣味としております。シックスティーズの一員であり、かつ当院内科病棟に勤務している足立はるみ看護師との出会いによりこの会が実現しました。

“オールデイズde運動療法”はその後も各種院外イベントで披露することとなりました。



今回の会では当院内科青柳いくみ医師に睡眠時無呼吸症候群について、当院リハビリテーション科鳥井聡理学療法士に運動療法の大切さについてそれぞれ講演を行って頂きました。参加者の皆様には血糖や血圧を測定して頂き、ご自身の身体を見つめるための良い機会にさせて頂きました。



平成29年7月29日には第5回日本糖尿病療養指導学術集会で足立はるみ氏によるポスター発表(演題名:当院で発案された「オールデイズde運動療法」イベントが治療中断再発防止に寄与したと考えられる一例)を行いました。斬新な発表内容のため多くの学会参加者の注目を集めるに至りました。

第2回 「オールデイズde運動療法」の会

レトロの会発案

2017.10.1

有記はオリジナル曲の歌手及び演奏者

演奏曲目

- ①バージョン 唄 コニー・フランシス/弘田三枝子
- ②ダイアナ 唄 ボール・アンカ/山下敬二郎 (ふりつけあり)
- ③ロコモーション 唄 リトルエヴァ/伊東ゆかり (ふりつけあり)
- ④想い出の渚 唄 ザ・ワイルドワンズ
- ⑤プリティウーマン 唄 ロイ・オービソン
- ⑥パイプライン 演奏 ザ・ベンチャーズ (ふりつけあり)
- ⑦レジーアナママ 唄 ジーン・ピットニー/飯田久彦
- ⑧レージュの伝言 唄 荒井由美 (ふりつけあり)
- ⑨ブルーシャッター 唄 ジャッキー吉川とブルーコメッツ

ボックスステップPart2 図解

Let's Dance

- 足をそろえたところからさあ、始めましょう!
- 右足を前に出します
- 左足を前に出します
- 右足を後ろに引きます
- 左足を後ろに引きます



地域医療 連携紹介

あきたけ医院

内科・小児科・ペイ
訪問診療・在宅ホス
病児保育室



院長 秋武 邦子 先生
医師 眞鍋 祐美子 先生

〒801-0873

北九州市門司区東門司2丁目4番18号

電話 093-321-0541

FAX 093-321-0544



皆様こんにちは、門司区東門司のあきたけ医院です。

院長の秋武邦子は、当地で開業した先祖を継ぎ、3代目として小児科として56年間地域の皆様とともに歩んでまいりました。昨年、母と共に診療をしておりました父が亡くなり、その後を、一昨年まで掖済会病院に勤務しておりました娘の眞鍋祐美子が継いで現在に至っております。

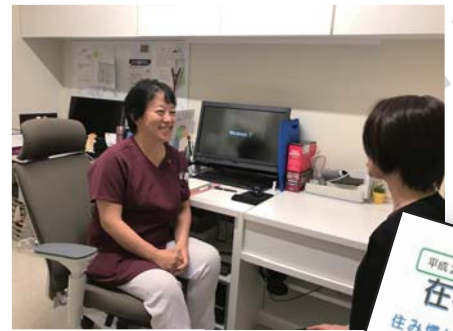
また医院内は、今年8月にリニューアルさせていただきました。入り口の癒しのコーナーでは、水槽の魚が悠々と泳ぐのをご覧になりながら、日替わりハーブティーを無料で試飲していただいております。小児科では、お子さん方ができるだけ楽しく過ごせるように、院長をはじめスタッフ同心をくだいております。2階の病児保育室は、高性能の除ウイルス、除菌装置も完備し、優しさにあふれた保育士さんたちに守られ過ごしやすい環境を提供しております。

また、内科では主に痛みの外来を専門とし、片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛、帯状疱疹痛、帯状疱疹後神経痛、腰痛、下肢痛、肩痛、膝痛、癌性疼痛などの多くの痛みを、神経ブロック、薬物療法、理学療法などで治療しております。また外来待ち時間をできるだけ快適に過ごしていただくために、ウォーターベッドをはじめ様々な器械を取り揃えております。また高齢になられ足腰が弱った方や、がんの進行に伴い、通院が難しく、ご自宅での療養をされる方のための訪問診療を行っております。

❖酸素ボックスの効果❖

酸素ボックスで身体周りの気圧を高めることにより、血液中に酸素が溶け込み、細胞に十分な酸素供給が行われます。これにより、次のような様々な効果があるといわれています。

- ・ 疲労・二日酔いの回復
- ・ アンチエイジング
- ・ ダイエット
- ・ 冷え性改善
- ・ ケガの回復
- ・ 生活習慣病予防
- ・ 集中力アップ
- ・ 視力回復効果



診療時間

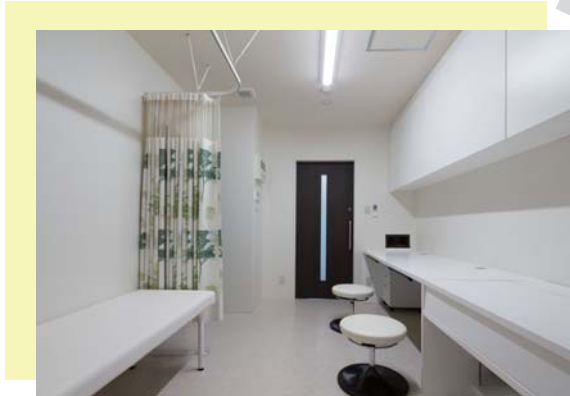
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------|---|---|---|---|---------|---|---|
| 午前 9:00~12:30 | ● | ● | ● | ● | ● 院長 | ● | — |
| 午後 2:00~6:00 | ● | ● | — | ● | ● 院長 | — | — |



- 土曜日：9:00~13:00
- 休診日：日曜日・祝日
- 午後は往診等で不在の場合がありますので、お問合せ下さい。
- 金曜日は院長(秋武邦子)のみの診察になります。



ペインクリニック
ホスピス



代謝排汗温体装置
炭素遠赤外線の共鳴波で発汗を促します



待合ホール
音楽会やセミナーにも利用します

ウォーターベッド



病児保育室
診療時間内は保育士が
常勤しております



酸素ボックス
ご利用時は事前にご予約下さい





院内探訪 その5

リハビリテーション



高齢化が急速に進行する中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう医療・介護・予防・生活支援・住まいを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築が進められています。

新たに診療報酬改定の中で創設された「地域包括ケア病棟」もその一つであり当院も平成28年3月病棟の一部の病床(13床)を地域包括ケア病床として開始し平成28年6月から1病棟(55床)を地域包括ケア病棟として運営を開始いたしました。

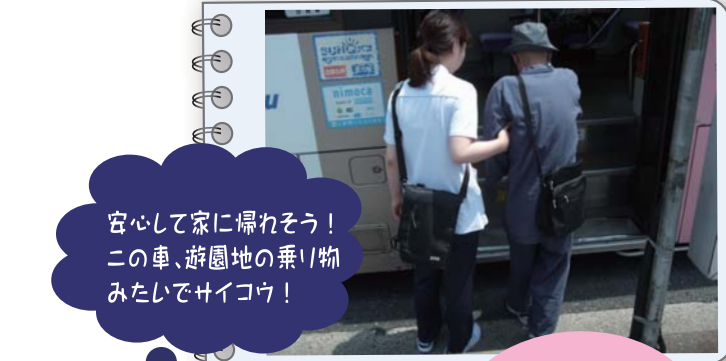
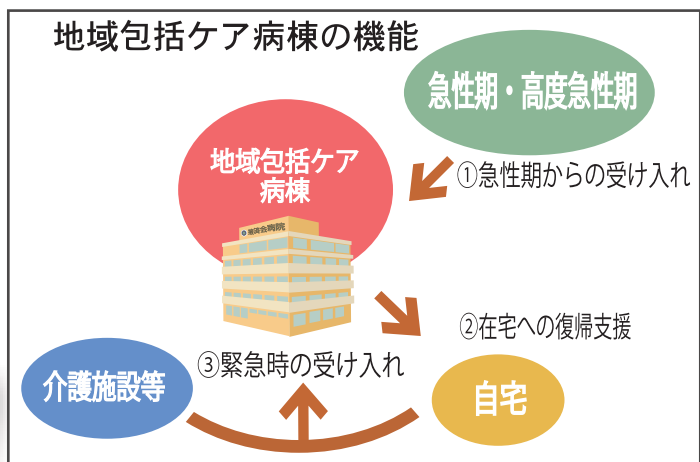
この病棟の機能は

① 急性期病床からの患者様の受け入れ

② 在宅への復帰支援

③ 地域からの緊急時の患者様の受け入れ

という大きな3つの明確なコンセプトがありそのうちリハビリテーションにおいては上記①②に大きく関与していきます。



安心して家に帰れそう！
この車、遊園地の乗り物
みたいでサイコウ！



その人らしい活動や
社会への参加の
お手伝いをします

当リハビリテーション科は各科医師からのリハビリ依頼により実用的な日常生活諸活動の実現を目的とし、それぞれの専門的な立場から共同してリハビリテーション医療を提供しています。

組織は理学療法部門、作業療法部門、社会福祉部門から構成されています。

理学療法部門は筋肉などの痛みをやわらげる物理療法や基本的動作能力の回復(起き上がること、座ること、立ち上がること、歩くなど)を実施する運動療法を患者様の状態に応じて実施いたします。

作業療法部門は応用動作能力(物をもつ、衣服の着脱、トイレで用をたす、入浴するなど)を患者様の状態に応じて訓練を行い、社会復帰(在宅での生活など)を目指します。

社会福祉部門は社会復帰(退院、転院連絡調整)については各専門職参加のリハビリ回診やカンファランス、医療ソーシャルワーカーやケアマネージャーの連携により退院前には、カンファランス(医療・保健・福祉の担当者との話し合いの場)の実施や自宅を訪問し、患者様の視点、サポートするご家族の皆様々に配慮を行い、自立生活を円滑にできるようにその人らしい活動や社会参加の移行をめざしております。

リハビリテーションセンター



入院のリハビリ機能として急性期病棟と新たに地域包括ケア病棟が加わり早期からリハビリを提供し機能回復につとめます。患者様が少しでも自立した生活を獲得でき地域の中へ安心して戻れるように医療・保健・福祉的サービスを心がけています。急性期病棟と地域包括ケア病棟との医療提供ができるように運営の再々検討をしております。



平成29年度 第1回 地域リーダー研修会

多施設連携のはじめは... どうぞ！「誰のかわかりづい」この研修会が「誰のかわかりづい」を解消するきっかけづくり、患者様の生活の質を向上させるための研修会です。

今日のグループワークは...
主人公は退院する脳疾患の高齢者、自宅に帰りたい！
でも、介護や介護が心配...
どんな事例をもとに専門職ごとの知識で一緒に考えませんか？

平成29年7月6日(木)19:00から
門司区医師会館 3階 講堂
門司区の事業所で医療・介護・福祉に携わる方ならどなたでも参加できます。参加費は無料です。

お申し込みは 6月30日(金)までに下記へお願いいたします。

門司区医師会 門司区医師会 介護連携支援センター
TEL : 371-3313 FAX : 371-3314



外来のリハビリは骨折の術後や痛みなどを伴う関節の疾患、脳卒中やパーキンソン病などさまざまな患者様とともにリハビリに取り組んでいます。当リハビリテーション科の各専門職は、日常の診療はもとより、啓発イベント、地域での研修会にも多く参加し、その内容を持ち帰り知識や技術を共有しながらリハビリの方向性を確認しています。

患者様とサポートするご家族の皆様が安心してリハビリを受けていただけるリハビリテーションを目指し努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

国家資格

- 理学療法士
- 作業療法士

関連資格

- がんリハビリテーション研修修了(施設基準研修)
- 3学会合同 呼吸療法認定士
- 日本心臓リハビリテーション学会認定 心臓リハビリテーション運動指導士
- 日本糖尿病療養指導士
- BLS講習修了者
- 介護支援専門員(ケアマネージャー)
- 住環境福祉コーディネーター2級

施設基準

- 運動器リハビリテーションⅠ (骨・関節の疾患等)
- 脳血管リハビリテーションⅡ (脳卒中等の脳疾患の障害)
- 廃用症候群リハビリテーションⅡ (ベッド上安静により生じる筋力や心肺機能の低下、認知機能の低下等)
- 呼吸器リハビリテーションⅠ (肺気腫などの呼吸器の疾患)
- がん患者リハビリテーション (手術期から緩和ケア期まで)



医療連携室掲示板

紹介患者様予約申込書

| | |
|----------------------|-----------|
| 門司掖済会病院 医療連携室 宛 | 申込日 年 月 日 |
| 直通FAX番号 093-321-1032 | 紹介元医療機関 |
| 直通TEL番号 093-321-1031 | 医療機関名 |
| 代表TEL番号 093-321-0984 | 所在地 |
| | TEL |
| | FAX |
| | 医師名 |

| | |
|--|--|
| 希望受診科 | <input type="checkbox"/> 内科 () <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 胃腸内科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 |
| | <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 婦人科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 歯科口腔外科 |
| 受診希望日 | 年 月 日 |
| 連絡事項 | 希望医師 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 先生 |
| ご紹介内容をお知らせください | |
| <input type="checkbox"/> 外来診察 <input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 転院 <input type="checkbox"/> 即日入院 <input type="checkbox"/> PSG | |
| 検査依頼 (<input type="checkbox"/> MRI <input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> 骨密度(DEXA) <input type="checkbox"/> 胃内視鏡 <input type="checkbox"/> 大腸内視鏡 <input type="checkbox"/> エコー) | |
| その他 () | |

| | |
|--|--|
| ふりがな | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 明治 <input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 |
| 患者様氏名 | <input type="checkbox"/> 女 年 月 日 歳 |
| 患者様住所 | 電話番号 自宅 携帯 |
| 保険者番号 | 公費負担者番号 |
| 記号・番号 | 受給者番号 |
| <input type="checkbox"/> 本人・ <input type="checkbox"/> 家族 | 公費負担者番号 |
| 一部負担割合 <input type="checkbox"/> 1割 <input type="checkbox"/> 2割 <input type="checkbox"/> 3割 | 受給者番号 |

- 事前にカルテをご準備させていただきますので、お手数ですが上記ご記入のうえ診療情報提供書とともにFAXをお願い致します。
- 紹介検査依頼について
 - ・胃カメラのご予約は直接胃腸内科外来(内線1151)へご依頼ください。
 - ・CT・MRI・MRAのご予約は直接放射線科(内線1281)へご依頼ください。(予約申込書・診療情報提供書を事前にFAXをお願いします)
 - ・骨密度のご予約は医療連携室へご依頼ください。(※予約申込書のみFAXお願いします。診療情報提供書は必要ありません)
- 患者さまご来院時に、「紹介状」「健康保険証」「各種医療証(お持ちの方のみ)」「お薬手帳」「その他検査資料(お持ちの方)」を必ずお持ちください。

※申し込み後、受診希望日の変更が生じた際は、医療連携室へご連絡ください。

| | |
|------------|----------------|
| 医療連携室 受付時間 | 平日 8:30~17:00 |
| | 土曜日 8:30~12:30 |

平成29年5月作成

日頃より当院の医療連携推進にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今回は予約申込書を新しくさせていただきますので、お知らせ致します。

今までの予約申込書でも対応致しておりますが、在庫がなくなり次第、新しい申込書でFAXいただきますようお願い申し上げます。

医療連携室 専任事務 鶴木 利江

MSW

八木 睦未
浅井 愛子
橋本 拓

ご相談がございましたら、いつでもお電話下さい。お待ちしております。



Japan Seafarers Relief Association Moji Ekisaikai Hospital

今月の表紙

吾輩は猫である、名前はまだない…ということは無い。この界限では「タマ」「ミーコ」「ミーちゃん」「しろくろのすけ」と老若男女から可愛がられている(と思う)。本名は「ミルク」というのだが、明かさずに日々流離っている。まあ首輪を見ればわかるのだが、そんなことをするのは、私の写真を撮る変わり者の人間だけだ。その者は、首輪を見た瞬間いけないものを見てしまったような顔をしていたよ。これからは飄々と猫らしく生きていくつもりだが、一つだけ悩みがあるのだ。可愛がられすぎてこの数年で太りすぎてしまったことが…

編集後記

季節も冬に近づき、朝晩など寒さをひひひと感じるようになってきました。紅葉シーズンのこの時期、各景勝地へお出かけになる方も多いかと思いますが、風邪などで体調を崩さないよう健康管理には十分気を付けましょう。



発行



一般社団法人 日本海員掖済会

門司掖済会病院

〒801-8550

北九州市門司区清滝1丁目3番1号

代表 電話 093-321-0984

FAX 093-331-7085

<http://www.ekisaikai-moji.jp>

医療連携室

電話 093-321-1031

FAX 093-321-1032

